

授業改善プラン

1 年 教科 (保健体育)

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
保健体育への 関心・意欲・態度	全体的に体を動かすことへの意欲は高く、特に球技は一生懸命取り組む生徒が多い。反面持久走や器械運動に抵抗のある生徒がいる。	生徒同士の励ましの声掛けを意識させ、明るい雰囲気づくりを心掛ける。準備体操や筋トレを毎時間導入部で実施し、基礎体力向上を図る。	体育係を中心に、整列・準備体操・挨拶までを習慣化し、自主的に行えるようさらに意識させる。常に声を掛け合える集団を目指す。
思考・判断	指示したことに 대해서는 しっかり対応し、行動に移せるが、自ら考え工夫する力が身に付いていない生徒が数名いる。	グループ活動の学び合いを通して、お互いに教え合い自らの技能についても考え、フィードバックさせる。	個人種目（陸上・水泳・器械運動）に関しても小集団のグループを編成し、お互いが教え合える授業を展開する。
技能	女子は比較的運動に対して苦手意識を持つ生徒が多いが、人数も少なく個別に技能習得の指導ができる。	授業にクロムブックを持参させ、見本の試技を視聴したり、自分のフォームのチェックに活用する。	クロムブックをさらに活用し、技術力向上を図る。
知識・理解	定期考査の結果を見ると、授業内容を理解している生徒は多い。座学での授業も集中している。	学習カード（振り返り、技術ポイント）やクロムブックを活用し、運動全般の知識をさらに深めていく。	授業や部活動で得た知識を、生徒同士で教え合う場面設定をすることで、教えられる側、教える側共に知識を深める。
授業改善の検証方法	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	小学校6年生での授業内容や、生徒の実態を情報交換し、授業に反映している。	小学校の情報をもとに生徒によって苦手な単元の個別指導を積極的に行う	小学校・中学1年生時の結果をもとに、できるだけ個にあった指導や声掛けを心掛ける

授業改善プラン

2年 教科（保健体育）

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
保健体育への 関心・意欲・態度	学習ポイントを理解して意欲的に取り組む生徒が多い。リーダーを中心に授業規律も確立されている。	IT 機器を活用しお互いの課題や解決方法を見つけ合うことで運動への興味関心をさらに高める。	運動が苦手な生徒もいるが、意欲的に取り組んでいる。さらに意欲が持てるよう分かりやすく、結果が見えやすい授業を心掛ける。
思考・判断	指示したことに関してはよく理解し、さらに自ら考え行動に移すことのできる生徒が多い。	グループ活動による教え合う場面設定をさらに増やすことで自らの技能についてもフィードバックさせる。	ソフトボールやサッカーではグループで教え合う場面を行った。来年度は個人種目（陸上・水泳・器械運動）に関しても小集団のグループを編成を展開する。
技能	女子の人数が多いが技能習得のために意欲的に取り組んでいる。	授業にクロムブックを持参させ、見本の試技を視聴したり、自分のフォームのチェックに活用する。	クロムブックをさらに活用し、技術力向上を図る。
知識・理解	定期考査の結果を見ると、授業内容を理解している生徒は多い。座学での授業も集中している。	学習カード（振り返り、技術ポイント）やクロムブックを活用し、運動全般の知識を深めていく。	保健分野・体育理論に関しても、クロムブックを活用し知識を深める。
授業改善の検証方法	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の方でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	小学校6年生での授業内容や、生徒の実態を情報交換し、授業に反映している。	小学校の情報をもとに生徒によって苦手な単元の個別指導を積極的に行う	小学校・中学1・2年の実践を土台にさらに発展的な授業を行う。

授業改善プラン

3 年 教科 (保健体育)

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
保健体育への 関心・意欲・態度	意欲的な取り組みの生徒が多い一方、仲間を引っ張り上げようとする生徒が少ない。理解が進んでいる生徒が仲間に教えるような雰囲気を育てたい。	リーダーを育成し、クラス全体で意欲的に授業に取り組む雰囲気づくりを行う。	2学期後半くらいからクラス全体に前向きな姿勢が見られるようになった。お互いに声を掛け合う場面も多く見られるようになった。
思考・判断	指示したことにに関して、対応し、さらに自ら考え行動に移すことのできる生徒が多い。	グループ活動による教え合う場面設定をさらに増やすことで、個々の課題に対する挑戦を認め合う場面を増やす。	バスケットボールやソフトボールではチームミーティングを開いてお互い教え合う場面が多くみられた。
技能	少人数のため運動量を確保しやすく、技術習得のための反復練習がしやすい。	授業にクロムブックを持参させ、見本の試技を視聴したり、自分のフォームのチェックに活用する。	クロムブックをさらに活用し、技術力向上を図る。
知識・理解	定期考査の結果を見ると、授業内容を理解している生徒は多い。座学での授業も集中している。	学習カード（振り返り、技術ポイント）やクロムブックを活用し、運動全般の知識を深めていく。	保健分野・体育理論に関しても、クロムブックを活用し知識を深める。
授業改善の検証方法	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など	定期テスト、ワークシート、授業への取り組み姿勢など

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	小学校6年生での授業内容や、生徒の実態を情報交換し、授業に反映している。	小学校の情報をもとに生徒によって苦手な単元の個別指導を積極的に行う	小・中9年間で付けた力を、今後役に立てる。